

アキュラホーム「新日本様式」100選(Jマーク)に選定

匠の技が作る日本の伝統、堅格子の耐力壁「ガラスウォール」

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、独自に開発した堅格子デザインの耐力壁「ガラスウォール」で「新日本様式」協議会が主催する2007年「新日本様式」100選に選定されました。

アキュラホームは匠の技による、心ある家づくり文化の復興「匠の心ルネサンス」を宣言しました。そして作り手の顔が見え、お客様にご満足いただける高品質・適正価格の住宅を提供してまいりました。そのような中で「新日本様式」協議会による日本の伝統的なデザインや機能と現代の高度な技術力とを融合させて「日本らしさ」を追求する「新日本様式」の主張に触れ、そして共感し、この度の100選への取り組みがスタートしました。これらモノづくりに対する思いを、アキュラホームが事務局を務める約600社の工務店ネットワーク「ジャーブネット」に参加する全国の匠たちへ発信してまいります。



商品概要

昨今の住宅需要として、たくさんの光を取り込む大空間の消費者ニーズが高まるにつれて、耐震強度をしっかりと確保するための耐力壁が重要な要素となっています。新開発の耐力壁「ガラスウォール」は、東京大学大学院との共同研究により開発され、伝統的な日本の住宅で目にする堅格子のデザインに構造耐力を持たせました。格子の間部分に強化ガラスを挟み、全体で壁としての強度を持たせています。採光性とともに様々な居住空間にマッチするシンプルな堅格子デザインは構造耐力と空間の連続性を両立させ開放的な空間設計を可能とします。「ガラスウォール」は、広く普及した現代の技術(高度な構造力学の活用や機械によるプレカット)と匠の技(伝統工法の木組みの技)により組み立てられています。

ガラスウォール 価格:600,000~750,000円/セット(オープン価格)

商品のポイント

精度の高い木造軸組みプレカット技術と大工の匠の技術を融合させ、開放性、空間連続性を持ちながら、壁倍率2.5相当の強固な壁を実現しました。

日本の文化とも言える堅格子を用いた感性の高い意匠は、日本人の故郷を思わせる落ち着いた空間を醸し出しています。

古民家再生、耐震補強において使用しても、空間イメージを大きく損ねることなく、耐震強度向上が図れます。

選定理由

地震が多い日本では、住まいの耐力として壁が必要になる。耐震強度を確保しつつ、住まいに広々とした奥行きを出す、という相反の課題をクリアにしたのがこの製品である。現代のプレカット技術と匠による木組み格子とガラスの壁が、耐力壁でありながら、住まいに開放感と採光性をもたらす。新築だけでなく、古民家の再生やリフォームでも活用できる点も評価できる。

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・川畑

Email: horikosi@aqura.co.jp TEL: 03-6302-5010(ダイヤルイン) FAX: 03-5909-5560

写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>

「新日本様式」協議会による「新日本様式」100選のニュースリリースは下記にてご覧いただけます。

<http://www.japanesque-modern.org>

「新日本様式」について

「新日本様式」とは

国際的な競争力が求められている今、改めて日本ブランドを確立し、製品やコンテンツを世界に発信していくことは、日本の力を発揮する好機につながります。

日本の伝統的な技術・デザインや機能、コンテンツを現代の生活にふさわしいように再提言し、競争力の源泉とする。それが「新日本様式」の活動です。伝統文化や技術に着目し、日本人が長年にわたり培ってきた感性の結晶として、新しい日本様式を確立させようという試みです。

「新日本様式」協議会とは

2006年1月に発足した「新日本様式」協議会は、経済産業省「新日本様式・ブランド推進懇談会」が提言した新しい日本ブランドを形成していく推進団体です。日本を代表する大手メーカー、映画会社、百貨店などの企業、大学・機構・組合・個人などで構成されています。理事長は、松下電器産業株式会社代表取締役社長の中村邦夫氏。外務省、経済産業省、国土交通省、文化庁がオブザーバーを務めています。

アキュラホーム・ジャーブネット(JAHBnet)

アキュラホームは1978年の創業以来、高品質で低価格な住宅の供給に取り組み、独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発しました。94年に全国工務店に供給開始し、現在2500社以上の工務店が導入しています。98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャーブネット)を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに約8年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供してきました。2005年9月に、名称を「JAHBnet(ジャーブネット)」と変更し、業種の壁を超えた新しい連携を取り入れ、より理想に近い住宅供給を実現する次世代住宅供給ネットワークとして生まれ変わりました。ジャーブネットには約600社が加盟し、2006年度の木造住宅累計販売棟数は9864棟、フランチャイズチェーン・ボランタリーチェーンの販売棟数ランキングで1位となっています。2007年4月にはジャーブネット販売累計が50,000棟を超えました。7月に開催した第8回ジャーブネット全国大会では、“先進の技術”“適正価格”に加えて“匠の心”で価値ある住まいづくりを行って、匠による家づくり文化を復興する“匠の心ルネサンス”を宣言しました。

また東京都が進める東村山市本町地区プロジェクト(都営住宅跡地を利用した全280戸の定期借地権付分譲)では、「価格引き下げ実証実験」で圧倒的な低価格提案(他提案が2/3に引上げるなか1/2の価格を提案)をもってプロジェクト事業者4グループの内1社に選定されました。第一期(50戸)販売の申込みでは平均申込み倍率8.6倍の中で49倍、第2期(28戸)販売の申込みでは平均倍率10.7倍の中で51倍の最高申込み倍率を記録しました。住宅産業研究所データによる

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和53)年10月
資本金	9,314万円
従業員数	544名(07年3月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	204億円(07年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp